



矢倉沢往還を歩く①

赤坂御門跡▶三軒茶屋

2025年11月8日（土）東京メトロ永田町駅9a出口（地上です）10:00 集合

コース・・・東京メトロ永田町駅9a出口⇒①赤坂御門跡⇒②弁慶堀（弁慶橋）⇒③豊川稲荷東京別院⇒④牛鳴坂⇒⑤高橋是清翁記念公園⇒⑥明治神宮外苑のいちよう並木⇒⑦梅窓院⇒⑧善光寺⇒⑨宮益御嶽神社⇒⑩道玄坂の碑⇒⑪上目黒大坂⇒⑫上目黒氷川神社⇒⑬目黒空中庭園⇒⑭池尻稲荷神社⇒⑮大山道追分道標⇒田園都市線三軒茶屋駅（約10km）

昼食・・・レストランにて

延期の場合は・・・11/15(土)

申し込み締め切り・・・11/5(水)

連絡先：tamaoaruku@gmail.com

1 はじめに

大山信仰のこと

大山は神奈川県伊勢原市、秦野市、厚木市の境にある標高1,252mの山で、丹沢大山国定公園に属しています。よく雲がかかり、雨が多く降ることから、あふりやま（阿夫利山、雨降り山）とも呼ばれています。

大山には神や祖先の靈魂が宿るとされ、古代から信仰の対象でした。

奈良時代、天平勝宝7年（755年）東大寺初代別当の良弁僧正が聖武天皇の勅許を得て、山腹に不動明王像を本尊とする大山寺を建立。大山山頂の磐座への「石尊権現」信仰と一体化して、大山信仰が形成されていきました。

江戸時代には、修験者は山を降り、御師となり、江戸を中心に新潟、福島まで村落をまわり、石尊大権現、不動明王尊の札を配り、大山信仰の布教を盛んに行いました。

各地に大山講がつくられ、江戸なかばの夏山の祭礼中には、20万人の人々が大山参詣に訪れたそうです。



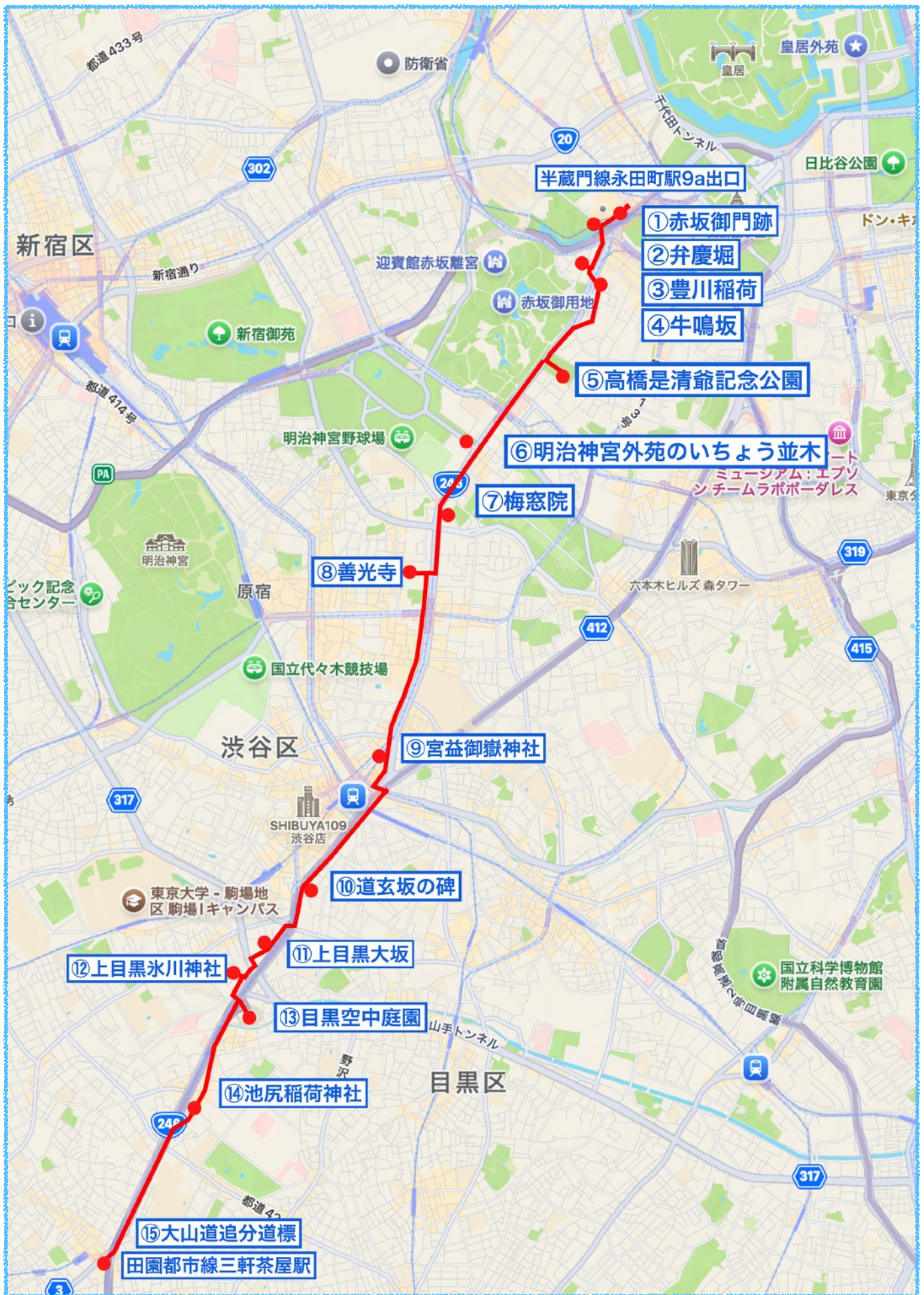
2 庶民が歩く脇街道 大山街道

江戸時代、幕府は大名や武士が江戸を往復するため、五街道（東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道）を整備しました。

これ以外の道は、脇往還、脇街道です。今回歩く大山街道も江戸に物資を運んだり、庶民が歩いたりした脇街道です。赤坂御門、青山、三軒茶屋、多摩川を渡り、二子、長津田、厚木、伊勢原、松田惣領、矢倉沢関所、足柄峠を経て駿河方面へと続く、古代、中世からある古い道で矢倉沢往還と呼ばれていました。江戸時代なかば、庶民の大山詣りが盛んになり、多くの人が歩くようになりました。大山信仰の広がりとともに、各地から大山へ向かうための多くの大山街道がつけられました。

……ここまでは、ぶら多摩クラブ91回の矢倉沢往還を歩く「江田宿→長津田宿」の再掲です……

今回のぶら多摩クラブは、大山街道の江戸の始発点である赤坂御門から、多摩川までを11月、12月の2回に分けて歩きます。



3 見どころ



① 赤坂御門跡

江戸城に築かれた36門の一つ。寛永13年（1636）福岡藩主の黒田忠之が築いた。常に数人の見張り番がいて「赤坂見附」と呼ばれた。高麗門と櫓門を直角に配置した枡形門形式。現在の国道246号を跨いで築かれていた。『几号水準点が刻印されています。探してみてください』



② 弁慶堀（弁慶橋）

工事を施行した大工の弁慶小左衛門の名から命名された。ボート遊びができる。



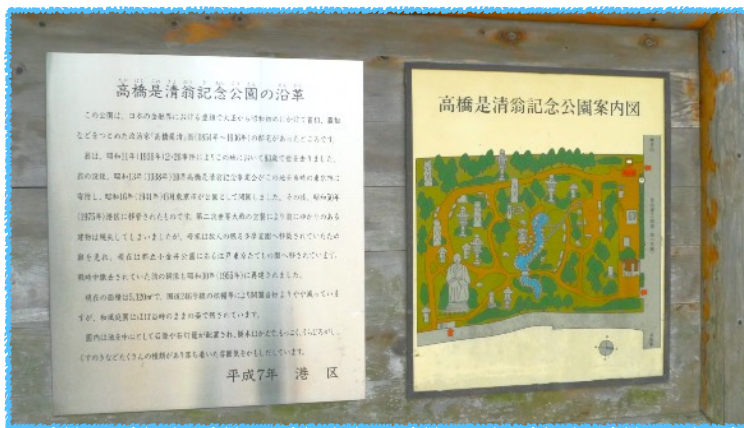
③ 豊川稲荷東京別院（豊川閣 妙厳寺 曹洞宗）

愛知県豊川市にある妙厳寺の東京別院。大岡忠相が守護神として祀っていた豊川叱枳尼真天（だきにしんてん）を息子の忠宣が、赤坂の敷地内に祀ったのが始まり。明治20年（1887）にこの地に移った。



④ 牛鳴坂

急で滑りやすく、荷物を引く牛が鳴いたくらいのきつい坂だった。



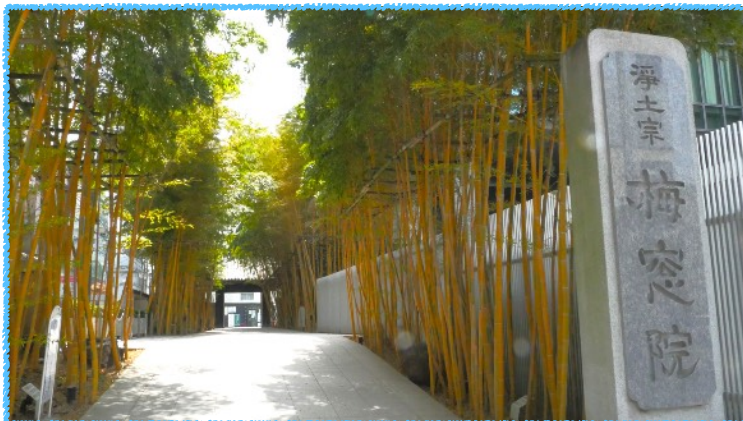
⑤ 高橋是清翁記念公園

昭和11年（1936）の二・二六事件の舞台となった高橋是清の自宅跡。高橋是清は、ここにあった私邸の2階寝室で暗殺された。家屋は江戸東京たてもの園に移築されている。



⑥ 明治神宮外苑のいちよう並木

300mのいちよう並木。146本のいちようが9m間隔で植えられている。先にある聖徳記念絵画館との景色が、遠近法で美しく見えるように整備されている。



⑦ 梅窓院（長青山寶樹寺 浄土宗）

青山の地名のもととなった青山氏の、13代にわたる墓所がある。参道の金明孟宗竹が美しい。



⑧ 善光寺（南命山無量寿院 浄土宗）

慶長6年（1601）徳川家康が長野の善光寺の別院として、谷中に尼寺として建立。元禄16年（1703）火災に遭い、この地に移った。長野の善光寺と同じく戒壇巡りがある。

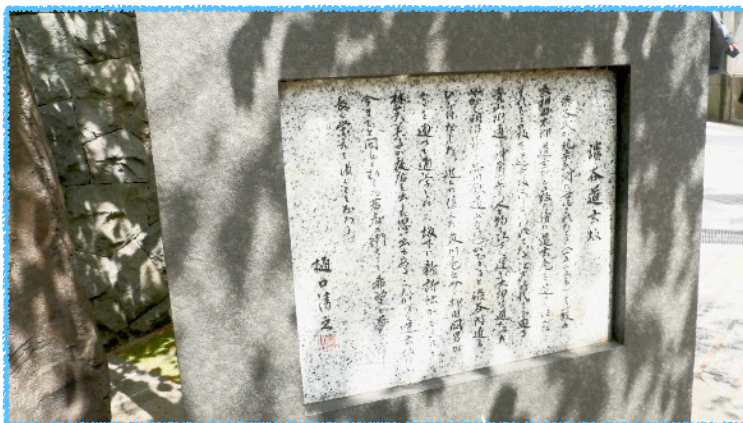


⑨ 宮益御嶽神社

奈良県吉野の金峰神社の分祭社として、室町時代初期に創建された。狛犬がニホンオオカミで、境内には炙り不動と言われる石像がある。



希望があれば、ここに寄るかも……



⑩ 道玄坂の碑

この地を開いた渋谷氏の一族だった大和田道玄から名付けられた、という謂れが書いてある。



⑪ 上目黒大坂

大山街道の急坂の一つ。落とした団子が下まで転がるくらいの急坂だったので、団子坂とも呼ばれた。

江戸時代、相模川でとれた鮎は厚木から江戸の魚市場へ夜通し若者たちによって運ばれていた。鮎をかついだ若者たちは急な坂に息を切らせ、街道の一番の難所であったこの坂を登って行った。

⑫ 上目黒氷川神社

この地に住んでいた加藤氏が安土桃山時代に建てたと言われている。明治時代に上目黒にあった目黒元富士（富士塚）を取り壊した際、この神社に移築した。





⑬ 目黒空中庭園

首都高速大橋ジャンクションの上に作られた庭園。……こちらで一休みしましょう……



⑭ 池尻稲荷神社

江戸時代初期、村民の氏神として建立、火除け・子育てのお稲荷様として信仰されてきた。境内に湧水があったため、旅人の休憩場所とされていた。



⑮ 大山道追分道標

三軒茶屋の交差点にあり、上部に不道明王がのっている。大山街道は、ここから用賀まで、新道、旧道に別れている。

